

# ようじえんだより 2019年度11月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地  
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

## 11月主題『共感する』

主題聖句：同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして

フィリピの信徒への手紙 2章2節

☆ 0～2歳児：いろいろなことに興味をもち、ためす。木の実や落ち葉にふれ、深まりゆく秋を楽しむ。絵本の中の言葉の繰り返しを楽しむ。友だちとの遊びの中で主張したり、思いをことばで伝える。

☆ 3～5歳児：秋の実りの豊かさや美しさにふれ、神様に感謝する。友だちとアイディアを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びこむようになる。様々な人の働きに関心をもち、身近に感じる。好きな絵本やお話が伝わり、イメージが広がり友だちと共感しながら過ごす。

## 保育業界の流行語『アタッチメント』

アタッチメントという言葉聞いたことがあるでしょうか。アタッチメントとは、「乳幼児期に特定の養育者との間に形成される情緒的な絆」のことです。わかりやすく言うと、子どもが困った時、寂しくなった時、怖い体験をした時、そばで守ってくれ、抱っこしてくれて、その気持ちを受けとめてくれる存在があるということです。昨今このアタッチメントが注目されるのは、アタッチメントが十分に満たされている子どもとそうでない子どもとの間に育ちの違いが明白に表れている、という研究が多くなされるようになったからです。

## サイレント虐待？

夏の園長研修会に来られた講師の方は臨床心理の専門家でしたが、その先生曰く「近年虐待が盛んに報道されるが、虐待は暴力や精神的に追い詰めるものだけではありません。むしろ数としては圧倒的にネグレクト(育児放棄)が多い。特にスマホの登場で、子どもの求めに親が反応せず放置するケースは増加の

一途をたどっています。そのような環境で育つと、多くの場合子どもは無気力になったり、表情が乏しくなったり、あるいは衝動的になったり、気持ちの切り替えが難しくなったりといろんなサインを出すようになります。」。ネグレクトが「サイレント虐待」と言われるゆえんです。

## 子どもとの触れ合いの時間を少しでも

アタッチメントの大切さを改めて感じた瞬間がありました。ファミリーデーの時、親子で抱っこ(ハグ)をする場面がありましたが、その時の子どもたちの表情が本当に幸せそうに輝いていたのです。保護者の皆さんはお仕事でなかなか子どもとの時間を確保することが難しい方もいらっしゃるでしょう。でも1日5分でも、「この子のため」の時間をとってあげて欲しいのです。月に(週に)1度数時間の交流よりも、少しの時間でも毎日の方が子どもの成長に効果があります。毎日5分、抱っこやふれあいを続けてみてください。子どもにとっても、親にとっても貴重な時となるはずですよ。

園長：久保田愛策

## 年間主題『ことばに満たされて～ひびきあう～』

主題聖句：その人は流れのほとりに植えられた木。

旧約聖書 詩編1編3節